

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 (仮称)北12条西4丁目学生MS

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目					建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体					
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						評価点	重み係数		評価点	重み係数			
配慮項目	A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体				
<b>Q 建築物の環境品質</b>														<b>2.9</b>				
<b>Q1 室内環境</b>														<b>3.1</b>				
<b>1 音環境</b>														<b>3.9</b>				
1.1 騒音	居住、就寝のための空間であり騒音の発生は極力少ないと考える													3.0	0.15	4.3	1.00	3.9
1.2 遮音	外部アルミ窓と内部樹脂窓の複合によるT-2以上の遮音性能の確保 多くの界壁に乾式耐火遮音(TLD-56)壁を設計採用													3.0	0.50	3.7	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能														3.0	1.00	5.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)														3.0	0.00	4.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														-	-	2.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)														-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音														3.0	0.01	-	-	
<b>2 温熱環境</b>														<b>2.3</b>				
2.1 室温制御														1.2	0.35	2.7	1.00	2.3
2.1.1 室温														1.3	0.71	2.2	0.71	
2.1.2 外皮性能	A													1.0	0.62	3.0	0.63	
2.1.3 ゾーン別制御性														2.0	0.37	1.0	0.38	
2.1.4 2.2 湿度制御														1.0	0.01	-	-	
2.1.5 2.3 空調方式	居住部には除室機能付きのエアコンが標準装備されている													1.0	0.29	4.0	0.29	
2.1.6 2.3 空調方式														-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>														<b>3.0</b>				
3.1 昼光利用														2.8	0.25	3.1	1.00	3.0
3.1.1 昼光率	Eタイプ居間食堂において昼光率は2%を超えている													3.0	0.31	3.4	0.35	
3.1.2 方位別開口														3.0	0.58	5.0	0.50	
3.1.3 昼光利用設備	A													-	-	1.0	0.30	
3.2 グレア対策														3.0	0.42	3.0	0.20	
3.2.1 昼光制御	A													3.0	0.29	3.0	0.35	
3.2.2 曇り曇り対策														3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度														2.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御														3.0	0.26	3.0	0.29	
<b>4 空気質環境</b>														<b>4.0</b>				
4.1 発生源対策														4.2	0.25	4.0	1.00	4.0
4.1.1 化学汚染物質	内装材は全てF☆☆☆☆製品を採用													5.0	0.60	5.0	0.63	
4.1.2 化学汚染物質														5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気														3.0	0.40	2.3	0.38	
4.2.1 換気量														3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能														-	-	1.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮														3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理														-	-	-	-	
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視														-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御														-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>														<b>2.9</b>				
<b>1 機能性</b>														<b>2.8</b>				
1.1 機能性・使いやすさ														1.6	0.40	3.4	1.00	2.8
1.1.1 広さ・収納性														1.0	0.40	4.0	0.60	
1.1.2 高度情報通信設備対応	各住戸へ100Mbitクラスのプロードバンド(光)対応を整備している													-	-	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画														1.0	0.00	4.0	1.00	
1.1.4 バリアフリー計画														1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性														1.0	0.30	2.5	0.40	
1.2.1 広さ感・景観	天井高さ2.5mを標準にけいかくしている													1.0	0.01	4.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュベース														-	-	-	-	
1.2.3 内装計画														1.0	0.99	1.0	0.50	
1.3 維持管理														3.0	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	防汚性の少ない標準的な仕上げ材を採用													3.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保														3.0	0.50	-	-	
1.3.3 維持管理用機能の確保														-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>														<b>2.7</b>				
2.1 耐震・免震														2.7	0.30	-	-	2.7
2.1.1 耐震性														3.0	0.50	-	-	
2.1.2 免震・制振性能														3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数														3.0	0.20	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数														2.6	0.30	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B													-	-	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B													2.0	0.25	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B													4.0	0.13	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B													3.0	0.13	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	B													3.0	0.25	-	-	
2.2.7 主要設備機器の更新必要間隔	B													2.0	0.25	-	-	
2.4 信頼性														2.2	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備														3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備														2.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備														3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法														1.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備														2.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>														<b>3.2</b>				
3.1 空間のゆとり														3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1.1 階高のゆとり	高さ2.9m以上の階高													-	-	3.6	0.50	
3.1.2 空間の形状・自由さ														-	-	4.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり														-	-	3.0	0.40	
3.3 設備の更新性														-	-	3.0	0.50	
3.3.1 空調配管の更新性														3.0	1.00	-	-	
3.3.2 給排水管の更新性	給排水管の施工は構造躯体に隠さない計画です													2.0	0.20	-	-	
3.3.3 電気配線の更新性														4.0	0.20	-	-	
3.3.4 通信配線の更新性														3.0	0.10	-	-	
3.3.5 設備機器の更新性														3.0	0.10	-	-	
3.3.6 バックアップスペースの確保														3.0	0.20	-	-	

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
(仮称)北12条西4丁目学生MS

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>											
1	生物環境の保全と創出			C		1.0	0.30			1.0	
2	まちなみ・景観への配慮			C	建物の後退配置、植栽等による計画配慮を行う	4.0	0.40			4.0	
3	地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30			2.5	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上					2.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上	B		C		3.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>											
<b>LR1 エネルギー</b>											
1	建物外皮の熱負荷抑制	A				0.9	0.20			0.9	
2	自然エネルギー利用	A				2.0	0.10			2.0	
3	設備システムの高効率化				BEI 非住宅 ー 住宅(専有部) 0.88	3.6	0.50			3.6	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	A			BEI値は1.00	5.0	0.03				
	集合住宅の評価(3c)	A			一次エネルギー消費率が90%以下	3.6	0.97				
4	効率的運用					3.0	0.20			3.0	
	集合住宅以外の評価					3.0	0.03				
4.1	モニタリング	A				3.0	0.50				
4.2	運用管理体制	A				3.0	0.50				
	集合住宅の評価					3.0	0.97				
4.1	モニタリング	A				3.0	0.50				
4.2	運用管理体制	A				3.0	0.50				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>											
1	水資源保護					3.0	0.20			3.0	
1.1	節水					3.0	0.40				
1.2	雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30				
2	非再生性資源の使用量削減					3.7	0.60			3.7	
2.1	材料使用量の削減	B				2.0	0.10				
2.2	既存建築躯体等の継続使用	B				3.0	0.20				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	B				3.0	0.20				
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	B			断熱材、ホ-ド、階段滑り止め	5.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材	B				3.0	0.10				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	B			建築材料のリサイクルの促進を目指した建設	5.0	0.20				
3	汚染物質含有材料の使用回避					2.9	0.20			2.9	
3.1	有害物質を含まない材料の使用				有害物質を極力含まない建築材料の選択	5.0	0.30				
3.2	フロン・ハロンの回避					2.0	0.70				
1	消火剤	B									
2	発泡剤(断熱材等)	B				2.0	0.50				
3	冷媒	B				2.0	0.50				
<b>LR3 敷地外環境</b>											
1	地球温暖化への配慮	B			評価シートによる自動算出とする	4.7	0.33			4.7	
2	地域環境への配慮					2.5	0.33			2.5	
2.1	大気汚染防止	B				3.0	0.25				
2.2	温熱環境悪化の改善	B	C	D		2.0	0.50				
2.3	地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25				
1	雨水排水負荷低減	B				3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制					3.0	0.25				
3	交通負荷抑制					3.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制	B		D		3.0	0.25				
3	周辺環境への配慮					2.3	0.33			2.3	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				
1	騒音					3.0	0.33				
2	振動					3.0	0.33				
3	悪臭					3.0	0.33				
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制					1.6	0.40				
1	風害の抑制					1.0	0.70				
2	砂塵の抑制										
3	日照阻害の抑制					3.0	0.30				
3.3	光害の抑制					2.6	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					2.0	0.70				
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				バルコニー手摺ガラスに網入型板ガラスの採用	4.0	0.30				